



新百合ヶ丘に輝く、
「芸術のまち」の証。



「映像のまち・かわさき」フェスティバル in しんゆり

カンヌ国際映画祭 パルムドール展

Festival International Du
Film De Cannes

Palme d'Or
Ei-Machi Festival
in Shinyuri

川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリッカしんゆり) 2019 プレイベント



©1997 Softgarage 松竹プロードキャストイング ケンメディア

- 第50回 カンヌ国際映画祭 パルムドール受賞作品『うなぎ』上映会
スペシャル対談: 天願大介 (日本映画大学学長/映画監督・脚本家) × 石坂健治 (日本映画大学学部長/映画祭ディレクター)
- 今村昌平監督作品のパルムドール2点と受賞トロフィーの展示
- ケーブルテレビ協議会ブース
- 映まちスタプラリー開催! 「映像のまち・かわさき」の取組紹介

※詳細は裏面をご参照ください

2019.3.16 SAT 13:00 ▶ 17:00

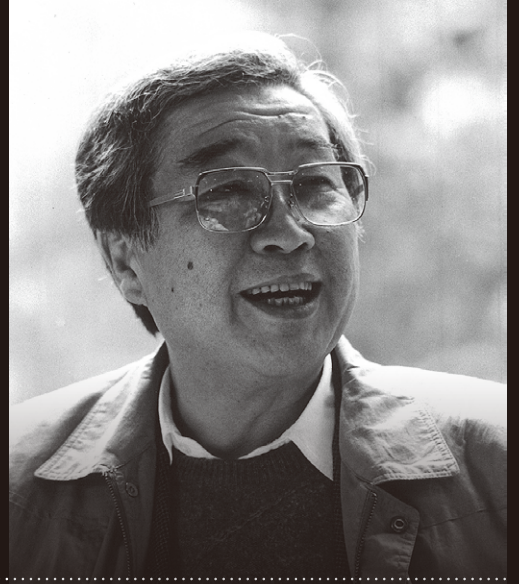
会場 | 新百合トウェンティワンホール [入場・鑑賞無料]

主催: 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム 協力: 日本映画大学 川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリッカしんゆり) 2019実行委員会 川崎市ケーブルテレビ協議会
後援: NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり お問い合わせ: 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム TEL:044-223-6550 (受付 10-17時・土日祝除く) <http://eizonomachi.com>



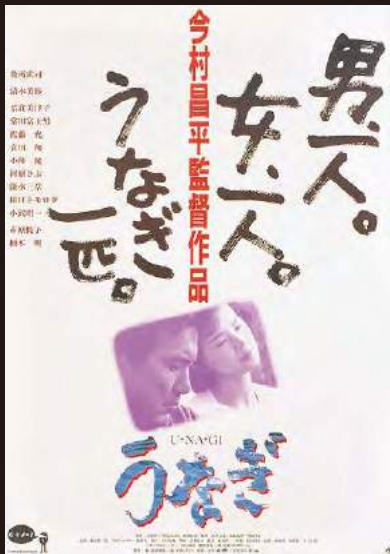
この街にカンヌ・最高賞の輝きが、 二つもあることをご存知ですか？

「カンヌ国際映画祭」の最高賞である「パルムドール」。71年の歴史の中で日本映画は過去4回選ばれており、その内2回が日本映画大学の創始者でもある今村昌平監督の作品です。実はこの2つの受賞トロフィーは川崎市アートセンターに展示されています。21年ぶりとなる日本映画の受賞を受け、改めて日本を代表する今村監督が、川崎の地で馳せた映画づくりや教育者としての思いを伝え、受賞作品の上映等を通じて「映像のまち・かわさき」を発信するとともに、映像文化の振興を図ります。



PROFILE

今村昌平(いまむらしょうへい)——映画監督、学校法人 神奈川映像学園・日本映画大学 創始者。1951年、松竹大船撮影所に助監督として入社。小津安二郎監督などの助監督を務めたあと、師・川島雄三監督と共に日活に移籍。1965年、今村プロ設立。以後、日本人の生と性を凝視したリアリズムを追求し続けた。2006年、没。



第50回 カンヌ国際映画祭 パルムドール受賞作品

『うなぎ』 上映会

[配給：松竹 上映時間 117分]

上映後は天願大介氏と石坂健治氏によるスペシャル対談を開催、『うなぎ』の制作秘話について語っていただきます。

STORY

妻の浮気によって人間不信に陥り、唯一飼っているうなぎだけに心を開く中年男と、そんな彼をとりまく人々との交流を描いた作品。第71回 キネマ旬報ベスト・テン 日本映画ベスト・ワン作品。

出演：役所広司、清水美砂、柄本明、倍賞美津子、田口トモロ
監督：今村昌平 / 原作：吉村昭「闇にひらめく」 / 脚本：今村昌平、天願大介、富川元文 / 音楽：池辺晋一郎 / プロデューサー：飯野久 / 撮影：小松原茂 / 照明：岩木保夫 / 録音：紅谷恒一 / 美術：稲垣尚夫 / 装飾：相田敏春 / 編集：岡安肇 / 助監督：井上文雄 / ラインプロデューサー：松田康史

©1997 Softgarage 松竹ロードキャストイング ケンメディア

開場 13:00 | 開映 13:30
12:30より整理券配布(先着200名)

※入場整理券は上映会参加希望者本人に1枚配布、代理での整理券受取はできません。

スペシャル対談

日本映画大学学長
映画監督・脚本家

天願大介



日本映画大学学部長
映画祭ディレクター

石坂健治



今村昌平監督作品のパルムドール2点とその他受賞トロフィーの展示

- ・川崎市アートセンターに寄託した『楢山節考』(1983)と『うなぎ』(1997)のパルムドールの展示
- ・日本映画大学が所蔵する今村監督の受賞トロフィーの展示
- ・『楢山節考』の作品紹介や制作ノート・脚本等の展示(日本映画大学附属図書館所蔵)

教育者・今村昌平に関する展示

- ・日本映画大学の前身にあたる日本映画学校の学生作品の受賞トロフィーと賞状等の展示
- ・横浜放送映画専門学院、日本映画学校、日本映画大学の卒業生が携わった劇場公開作品のポスター展示
- ・佐藤忠男著「教育者・今村昌平」(出版：キネマ旬報社)の紹介

ケーブルテレビ協議会ブース

J:COM・YOUテレビ・イツコム の3社共同ブースでは、2018年12月1日からのBS4K放送開始に伴い、4K映像のデモンストレーションを行います。高画質・高品質の映像を体感いただけます。

※写真は他のイベントのもので、今回の展示内容とは異なります



『楢山節考』『うなぎ』パルムドールの展示



『楢山節考』シナリオ

今村監督の制作ノート



『教育者・今村昌平』
著：今村昌平 編著：佐藤忠男
(キネマ旬報社)



「映像のまち・かわさき」とは？

川崎市では、国内唯一の単科大学である日本映画大学をはじめ、4つのシネコンや多くの映像関連施設など豊富な映像資源があることから、これらの関係団体等で構成する「映像のまち・かわさき」推進フォーラム(会長：川崎商工会議所会頭 山田長満)を発足し、映像による取組を支援するとともに、都市の魅力発信を行っています。特に12月から3月を「映像のまち・かわさき」フェスティバルとし、市内で開催される様々なイベントを通じ、映像に親しむ機会を提供しています。

「映像のまち・かわさき」ブース

- ・「映像のまち・かわさき」取組紹介
- ・市内で撮影されたロケパネルの展示
- ・【数量限定】映まちスタンプラリー開催！

「映像のまち・かわさき」フェスティバル in しんゆり会場内をまわってスタンプを集めよう！
全て集めた人には素敵なプレゼントがあります！

※参加費無料/景品が無くなり次第終了

「映まち」の
詳細はこちら！

